

目 次

I.	総会	
1)	平成25年度定時総会	2
2)	平成25年度事業計画	2
II.	理事会、会員定例会、部会、事業	
1)	理事会審議議題	7
2)	会員定例会審議議題	9
3)	宣伝部会、営業部会、製作＝渉外部会 総務・経理合同部会の開催	11
4)	外国映画通関連絡協議会の開催	11
5)	外画宣伝部長会の開催	11
III.	主な事業活動の報告	
1)	外国映画に関する調査、研究、統計資料の作成、収集並びにその公表等の 広報活動に関する事業	12
2)	外国映画文化、芸術の振興及び外国映画輸入配給産業の発展に寄与した団 体、法人、人物の表彰、顕彰に関する事業	12
3)	国民に対する輸入外国映画の社会的有用性の啓発のための宣伝、普及促進、 保存及び特殊上映に関する事業	15
4)	外国映画文化の振興並びに外国映画輸入配給産業の発展及び最新映画技術 研究に寄与するセミナー・シンポジウム・交流会の開催に関する事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・	17
5)	映画事業の振興推進を目的とした各種映画祭への協力、 後援及び開催に関する事業	18
6)	輸入外国映画の国際取引に係る紛争解決の 斡旋及び知的財産保護に関する事業	19
7)	前各号に掲げるもののほか、 この法人の目的を達成するために必要な事業	20
	別添各種資料	
	外画概況 国別	21
	外画概況 会社別	25
	作品目録	30

一般社団法人外国映画輸入配給協会事業報告

I. 総会

1) 平成25年度定時総会

平成25年度定時総会が以下の通りおこなわれた。

開催日時： 平成25年6月7日 午後1時

開催場所： 東京建設会館 4階会議室

平成24年度事業報告、決算報告ならびに平成25年度事業計画、収支予算は承認可決された。

理事の任期満了に伴い、理事迫本淳一、理事宮田昌紀、理事林瑞峰、理事杉山章、理事百武弘二、理事大藏満彦、理事和崎信哉、理事長瀬文男、理事升本喜郎の9氏の選任が承認された。

理事幸田順平の任期途中の辞任が承認可決され、後任として関輝明の理事就任が承認可決された。

監事の任期満了に伴い、監事中雅俊の選任が承認可決された。

監事岩崎敏久の任期満了に伴い退任が承認可決され、後任として八代英彦の監事就任が承認可決された。

2) 平成25年度事業計画

平成25年度事業計画は以下の通り

一般社団法人外国映画輸入配給協会が、平成25年4月1日より同26年3月31日迄の間に行う予定の主要事業は下記の通りである。

当協会は、一般社団法人映画産業団体連合会傘下であり邦人系外国映画輸入配給業者を代表する国内唯一の公的機関として、本年も外国映画の普及、発展に寄与すべく事業活動にあたっていく。

また一般社団法人日本映画製作者連盟、全国興行生活衛生同業組合連合会、モーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)、一般社団法人日本映像ソフト協会、日本国際映画著作権協会等の映画関連諸団体と密接な連携を諮り、映画産業全体の発展に寄与していく。

- (1) 外国映画に関する調査、研究、統計資料の作成、収集並びにその公表等の広報活動に関する事業

各年度に配給公開された輸入外国映画の年度別統計一覧資料を作成し、ウェブサイト（日本語・英語）上で広く公表を行っていく。

①年間外国映画統計資料

平成元年より各年度に配給公開された輸入外国映画作品について『映画概況』（国別・会社別）を作成。国内の輸入映画産業における基礎的な統計データを調査・集計し、当協会の公式ウェブサイト（日本語・英語）並びに各メディアを通じて公表。日本国内をはじめ海外からの要請並びに問い合わせにも対応し、広報活動に努める。

また外国映画の年間興行成績の調査に関しても配給会社各社から直接の聞き取り調査により、年間興行収入ベストテンに関しては公表し、メディア他の調査に協力する。

- (2) 外国映画文化、芸術の振興及び外国映画輸入配給産業の発展に寄与した団体、法人、人物の表彰、顕彰に関する事業

年間を通じて輸入外国映画の振興及び発展に貢献したと厳格な審査により認められた団体、法人、人物に対して各賞を授与し、メディアを通して公表する。

①優秀外国映画輸入配給賞

この賞は、年間を通じて作品的に優秀でなおかつ新分野を開拓し、映画界の発展に大きく寄与すると認められた外国映画を我が国に輸入公開した配給会社を表彰している。評論家及び各メディアから選ばれた審査員8名が厳正な選考の上、最優秀賞を初め各賞を授与する。

- (3) 国民に対する輸入外国映画の社会的有用性の啓発のための宣伝、普及促進、保存及び特殊上映に関する事業

広く国民を対象に輸入外国映画の持つ文化的・芸術的価値及び社会的価値について周知広報活動し、「さまざまな人に映画を届ける」を目標に特殊上映に関する活動を行う。

①トーキョーシネマショー

本協会、モーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)、一般社団法人日本映画製作者連盟、全国興行生活衛生同業連合会とともに、外国映画振興のためのイベントを実施する。シンポジウム、トークショー、試写会を通じて、一般の方々や劇場関係者およびマスコミに対して発信し、映画観客の増大と日本の映画産業の発展に大きく貢献することを目的とする。

②「映画館に行こう！」実行委員会活動

本協会、全国興行生活衛生同業組合連合会、一般社団法人映画製作者連盟及びモーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)の映画関係4団体が、映画館で映画を見てもらう機会を増やそうと、「映画館に行こう！」キャンペーンとしてこれまで「夫婦50割引」「高校生友情プライス」等の入場割引サービス等を行ってきた。同実行委員会としては、より多くのファンが映画に触れる機会を増やすため、今年も夏と秋に大々的にキャンペーンを実施する。さらに全国上映劇場の上映時間のデータベース化を促進しインターネット及び携帯電話での上映時間検索システムを充実させていく他、YAHOO!との連携によりPCでの予告編サイトを拡充し、観客の利便性を向上させる。又、「筑紫賞」の事務局として運営に積極的に関わり、故筑紫哲也氏の提唱により創設された本賞の趣旨を元に選ばれた優れた日本語タイトル作品を「映画の日」式典内で表彰している。

③優秀外国映画の保存

東京国立近代美術館フィルムセンターと協力し、会員各社が優秀外国映画を国民の文化財産としてフィルムセンターに寄贈する努力を行う。

④副音声付等特殊上映

「さまざまな人に映画を届ける」を目標に、視覚・聴覚に障害のある方々、あるいは高齢者の方々に配慮した環境の中で映画作品を上映する機会を設ける活動を続ける他、シンポジウム等を通じて必要性を訴える催しを後援していく。

(4) 外国映画文化の振興並びに外国映画輸入配給産業の発展及び最新映画技術研究に寄与するセミナー・シンポジウム・交流会の開催に関する事業

アメリカを初めとする諸外国並びに国内の最新映画情報及び映像技術革新に対する研修会等を通じて、映画関係者のみならず広く一般の方々と情報共有を図り、国内の映画産業に資する事業を行う。

①映画産業交流会

年1回モーション・ピクチャー・アソシエーション(MP A)の協力を得て、日本の映画産業を支える配給・興行・製作関係者の参加により、外国映画輸入配給事業の健全な発達及び、日本映画産業と海外の映画産業の交流を図り、我が国経済の発展と文化の向上に寄与することを目的として開催する。

②映画技術革新セミナー

近年の映像デジタル化による技術革新情報の最新情報を共有すべくセミナーの開催、技術研究会などに協力していく。

③外国映画通関連絡協議会研修会

当協会に事務局を置き、輸入通関業務及び映画技術の研究を行っている「外国映画通関連絡協議会」は毎年最新映像技術に関する研修会を開催しており、本年もこの研修会を通して映画関係者のみならず広く一般の方々に最新の映画・映像技術の情報を提供する。

④外画宣伝部長会

当協会に事務局を置き、当協会会員、映画製作者連盟加盟社およびモーション・ピクチャー・アソシエーション(MP A)加盟の各社宣伝部長が、映画宣伝について直面する諸問題、緊急課題の検討、連絡、情報交換を通じて各社の宣伝業務が円滑かつ健全に行われるよう会議を開催しているほかYAHOO! 予告編サイトの充実、マスコミ取材の調整を図るため立ち上げた「マスコミ・スケジュールボード」のシステムの維持・管理に加え、シネマショー、優秀外国映画輸入配給賞、「映画館に行こう！」実行委員会キャンペーンなどのイベントを共同で行っている。

(5) 映画事業の振興推進を目的とした各種映画祭への協力、後援及び開催に関する事業

映画事業の振興推進を目的とした各種映画祭への後援、開催への協力を行う。

①各種映画祭

これまで東京国際映画祭を初め、神戸100年映画祭、大阪ヨーロッパ映画祭、大阪アジア映画祭、沖縄国際映画祭、山形国際ドキュメンタリー映画祭、京都ヒストリカ国際映画祭、あいち国際女性映画祭、日本アカデミー賞、毎日映画コンクール、ブルーリボン賞等各種映画祭に対する後援及び実行協力を行っている。また「映画の日」など映画各団体が実行する催事に対する協力を行う。さらに輸入外国映画を広く我が国の国民に紹介すべく、EUフィルムデーズ、ブルガリア映画祭、フランス映画祭等海外の映画紹介への協力を行う。

(6) 輸入外国映画の国際取引に係る紛争解決の斡旋及び知的財産保護に関する事業

映画界のデジタル化に伴う様々な問題と劇場用長編外国映画の著作権侵害に対する諸対策を講じる。

①映画盗撮防止対策

本年も映画館での映画盗撮による著作権侵害が映画文化、芸術に対して被害を及ぼしていることに鑑み、映画盗撮防止に対する法律（平成19年法律第65号）第三条に規定されている映画産業関係事業者による映画盗撮防止措置について関係各団体と協議する他、「映画館に行こう！」実行委員会を中心に行っている「NO MORE映画泥棒」キャンペーンと連携を取って映画盗撮防止対策を拡充推進していく。

②会員各社並びに非会員輸入配給業者からの国際取引、著作権問題に関する諸問題の相談、聞き取り対策会員各社からの問題提起に沿い、協会は顧問弁護士、顧問会計事務所等との相談を通じ、外国映画関係法規及び国内著作権法等の検討を行い、問題解決に努める。

(7) 前各号に掲げるものの他、この法人の目的を達成するために必要な事業

Ⅱ. 理事会、会員定例会、部会、事業

1) 理事会審議議題

- 第19回理事会（4月19日開催）
 - 第18回（3月）理事会議事録承認の件
 - 3月収支月次報告の件
 - 平成24年度決算の件
 - 平成25年度事業計画の件
 - 平成25年度予算の件
 - 任期満了理事・監事の件
 - トーキョーシネマショー2013の件
 - その他

- 第20回理事会（6月7日開催）
 - 第19回（4月）理事会議事録承認の件
 - 4月収支月次報告の件
 - 平成24年度決算の件
 - 平成25年度予算の件
 - 平成25年度理事・監事選任の件
 - トーキョーシネマショー2013の件
 - その他

- 第21回理事会（7月19日開催）
 - 第20回（6月）理事会議事録承認の件
 - 5月、6月収支月次報告の件
 - トーキョーシネマショー2013の件
 - 「映画館に行こう！」実行委員会の件
 - その他

- 第22回理事会（9月20日開催）
 - 第21回（7月）理事会議事録承認の件
 - 7月、8月収支月次報告の件
 - 賛助会員新規入会の件
 - トーキョーシネマショー2013終了報告の件
 - 第52回優秀外国映画輸入配給賞の件
 - JASRACの件

その他

- 第23回理事会（10月18日開催）
 - 第22回（9月）理事会議事録承認の件
 - 9月収支月次報告の件
 - 第52回「優秀外国映画輸入配給賞」の件
 - 外配協の消費税「課税事業者届」提出に関する件
 - その他

- 第24回理事会（11月15日開催）
 - バリアフリー上映について
 - 第23回（10月）理事会議事録承認の件
 - 10月収支月次報告の件
 - 平成26年年頭名刺交換会の件
 - その他

- 第25回理事会（1月17日開催）
 - 第24回（11月）理事会議事録承認の件
 - 11月、12月収支月次報告の件
 - 平成26年年頭名刺交換会終了の件
 - 外画概況の件
 - JASRACの件
 - その他

- 第26回理事会（2月21日開催）
 - 第25回（1月）理事会議事録承認の件
 - 1月収支月次報告の件
 - 外画概況の件
 - 第52回優秀外国映画輸入配給賞の件
 - 賛助会員新規入会の件
 - その他

- 第27回理事会（3月14日開催）
 - 第26回（2月）理事会議事録承認の件
 - 2月収支月次報告の件
 - 平成25年度仮決算の件
 - 平成26年度事業計画案の件

第52回優秀外国映画輸入配給賞 審査結果報告の件
その他

2) 会員定例会審議議題

- 4月会員定例会（4月19日開催）
 - 3月会員定例会議事録承認の件
 - 3月事業報告承認の件
 - 平成24年度決算の件
 - 平成25年度事業計画の件
 - 平成25年収支予算書の件
 - 「第26回東京国際映画祭」に対する後援及び後援名義の件
 - 第51回優秀外国映画輸入配給賞の件

- 6月会員定例会（6月7日開催）
 - 4月会員定例会議事録承認の件
 - 4月、5月事業報告承認の件
 - トーキョーシネマショー2013の件
 - 「映画館に行こう！」実行委員会の件
 - 「山形国際ドキュメンタリー映画祭2013」後援名義の件
 - 「第6回したまちコメディ映画祭 in 台東」後援名義の件

- 7月会員定例会（7月19日開催）
 - 6月会員定例会議事録承認の件
 - 6月事業報告承認の件
 - トーキョーシネマショー2013の件
 - 「映画館に行こう！」実行委員会の件
 - 外通協研修会終了報告の件
 - 平成24年上期外面概況の件
 - 「あいち国際女性映画祭2013」後援名義の件
 - 「第18回神戸100年映画祭」後援名義の件

- 9月会員定例会（9月20日開催）
 - 7月会員定例会議事録承認の件
 - 7月、8月事業報告承認の件
 - 新規入会会社の件
 - トーキョーシネマショー2013終了の件

第52回優秀外国映画輸入配給賞の件
「映画館に行こう！」実行委員会の件
第26回東京国際映画祭の件
「TIFFCOM2013」後援名義の件

○10月会員定例会（10月18日開催）
新入会員ご紹介
9月会員定例会議事録承認の件
9月事業報告承認の件
第52回優秀外国映画輸入配給賞の件
「映画館に行こう！」実行委員会の件
「京都ヒストリカル国際映画祭」後援名義の件

○11月会員定例会（11月15日開催）
10月会員定例会議事録承認の件
10月事業報告承認の件
「第26回東京国際映画祭」終了報告の件
「第2回新・午前十時の映画祭」後援名義の件

○1月会員定例会（1月17日開催）
11月会員定例会議事録承認の件
11月、12月事業報告承認の件
年頭名刺交換会終了報の件
平成25年外画概況の件
「第9回大阪アジア映画祭」後援名義の件
フランス映画社退会の件
第58回「映画の日」中央大会の件

○2月会員定例会（2月21日開催）
1月会員定例会議事録承認の件
1月事業報告承認の件
第52回優秀外国映画輸入配給賞の件
2013年全国映画概況(映連資料)の件
協会調べの2013年興収分析表の件
「第6回沖縄国際映画祭」後援名義の件

- 3月会員定例会（3月14日開催）
 - 2月会員定例会議事録承認の件
 - 2月事業報告承認の件
 - 平成25年度仮決算の件
 - 平成26年度事業計画案の件
 - 第52回優秀外国映画輸入配給賞の件
 - 「SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2014」後援名義の件

- 3) 宣伝部会、営業部会、製作＝渉外部会、総務・経理合同部会の開催
理事会の承認のもとに以下の部会に於いて、事業計画推進・協会運営のため
の一般会議が行われた。

○宣伝部会

4回（9月6日、11月26日、1月23日、3月18日）

○営業部会

5回（6月25日、9月26日、11月27日、1月21日、3月25日）

○製作＝渉外部会

7回（9月27日、10月7日、11月8日、11月22日、12月13日、
1月24日、3月19日）

○総務・経理合同部会

4回（9月25日、11月26日、1月10日、3月18日）

- 4) 外国映画通関連絡協議会の開催

4回（4月26日、9月27日、11月22日、1月23日）

- 5) 外画宣伝部長会の開催

8回（4月4日、5月10日、6月18日、7月24日、9月6日、
11月26日、1月23日、3月18日）

Ⅲ. 主な事業活動の報告

- 1) 外国映画に関する調査、研究、統計資料の作成、収集並びにその公表等の広報活動に関する事業

平成25年外国映画作品目録を平成26年1月に発行。平成25年外画概況—国別、会社別—を7月(上半期)と1月に発行。作品目録ならびに外画概況は別添。なお、各種資料は完成後すぐに当協会ホームページに掲載し、関連団体、官公庁、関係会社、マスコミとの連絡業務に使用されている。

- 2) 外国映画文化、芸術の振興及び外国映画輸入配給産業の発展に寄与した団体、法人、人物の表彰、顕彰に関する事業

1. 第52回優秀外国映画輸入配給賞の実施

社団法人外国映画輸入配給協会が昭和37年度(1962年)から通商産業省(現経済産業省)の後援を得て制定した「優秀外国映画輸入配給賞」も平成25年度で52回を迎えた。第52回同賞は平成25年4月1日から平成26年3月31日迄の1年間に作品的に優秀で、なおかつ新分野を開拓し、日本映画界の発展に大きく寄与すると認められた外国映画を我が国に輸入公開した配給会社を表彰するため、8名(別項表示)の審査員により審査がおこなわれ、各賞が決定した。

概要は以下の通り

審査委員・運営委員合同会議は、10月30日(水)に開催され、第52回「優秀外国映画輸入配給賞」の実施要項が承認された後、審査員が紹介され審査委員長に品田雄吉氏、副委員長に秋山登氏の就任が決定した。

審査員： 秋山 登、明智 恵子、大高 宏雄、品田 雄吉、須永 智美、
鄭 孝俊、村上 光一、渡辺 祥子 (五十音字)

主 催： 一般社団法人外国映画輸入配給協会

後 援： 経済産業省

審査報告書

第1回審査会

第1回審査会は2月5日(水)午後12時より、日本映画製作者連盟会議室にて審査員8名出席のうえ開かれた。品田審査委員長から、審査の基本方針について説明が行われ、外国映画輸入配給協会が作成した2013年度「外国映画

作品目録」を資料に、審査対象会社106社（当協会会員会社22社、MPA加盟会社5社、その他79社）を1社ずつ配給した全作品を検討しつつ審議を行った結果、最終審査会には以下が選ばれた。

- 株式会社エプコット アルシネテラン・ディヴィジョン
- ギャガ株式会社
- 東映株式会社
- 日活株式会社
- ニューセレクト株式会社（アルバトロスフィルム）
- ブロードメディア・スタジオ株式会社
- 有限会社ロングライド
- ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
- ワーナー エンターテイメント ジャパン株式会社
- 株式会社アップリンク
- 株式会社クレストインターナショナル
- 株式会社新日本映画社（エスパース・サロウ）
- 有限会社セテラ・インターナショナル
- 有限会社ムヴィオラ

第2回審査会（最終審査会）

2月5日に行われた第1回審査会に続いて最終審査会は3月5日（水）午後12時より日本映画製作者連盟会議室において開かれた。第1回審査会で選ばれた14社の平成25年4月から平成26年3月末日までに公開された作品リストをもとに、品田委員長の他7名の審査員により各賞の推薦理由及びそれに対する徹底討議ののち、以下の審査結果に決定した。

<最優秀賞>

- ギャガ株式会社

「それでも夜は明ける」「鑑定士と顔のない依頼人」「タイピスト！」

本年度の第86回アカデミー賞<作品賞>受賞作「それでも夜は明ける」を受賞発表の週末に公開するという絶妙な編成を含め、買付から公開規模の設定や宣伝戦略に至るまでの決断のスピードにも賞賛の声が集まりました。又「鑑定士と顔のない依頼人」では、年齢の高い知識層にも届く宣伝を心がけてヒットさせ、「タイピスト！」では若い女性層を確実に動員するなど、個々の作品毎にきめ細かく練られた戦略で、幅広い洋画ファンの期待に応え続ける姿勢は高く評価され今回の受賞となりました。

<優秀賞>

○有限会社ロングライド

「天使の分け前」「トゥ・ザ・ワンダー」「ネブラスカ ふたつの心をつなぐ旅」

公開する作品それぞれが作家性の強い個性に富んだ良質なものをラインアップし、その作家特性と一般性を持たせる宣伝戦略の緻密な構成で多くの映画ファンの期待に応えていることが大いに評価されました。ケン・ローチ監督の「天使の分け前」をはじめ、テレンス・マリック監督作「トゥ・ザ・ワンダー」で着実に映画ファンを集め手堅い成績を収めると共に、本年度のアカデミー賞ノミネート作品でもあるアレクサンダー・ペイン監督作品「ネブラスカ ふたつの心をつなぐ旅」では初日の設定も含め丁寧に興行的な成功に結び付けて行く姿勢にも賞賛の声が多く集まりました。

<奨励賞>

○有限会社セテラ・インターナショナル

「クロワッサンで朝食を」「ハンナ・アーレント」

『パリのエストニア人』という原題の作品を、映画の顔ともいべきタイトルを「クロワッサンで朝食を」と付けることで生まれ変わらせて、多くの女性観客の支持を集めたそのセンスに賞賛の声が多く出ました。又期待作である「ハンナ・アーレント」を岩波ホールで公開し全国興収1億円を突破するという成功を収めたことも賞賛を集めました。今後も外国映画の素晴らしさをセンス良く伝え続けてくれることへの期待も含め今回の受賞が決まりました。

○株式会社新日本映画社 エスパース・サロウ

「熱波」「ブランカニエベス」「眠れる美女」

ポルトガルのミゲル・ゴメス監督作「熱波」やスペインのパブロ・ベルヘル監督作「ブランカニエベス」、イタリアのマルコ・ベロッキオ監督の「眠れる美女」など良質作ではあるが、日本公開においては冒険的と思える作品を、精力的な買付け・配給を行っていることに高い評価が集まりました。今後とも世界中から良質な作品を提供し続けてほしいとの期待を込めて今回の受賞となりました。

授賞式は平成26年4月16日に開催された。

3. 一般社団法人映画産業団体連合会会員としての活動

一般社団法人映画産業団体連合会（映団連）の正会員として、当協会会長は理事として定時総会、定例理事会（9回）に出席し、事務局長はオブザーバーとして同席。映団連会員団体事務局長連絡会議に出席、映団連の会員として当協会の基盤の安定化に努力した。映団連主催の第58回「映画の日」運営に協力した。

第58回「映画の日」永年勤続功労章受賞者（当協会推薦者）は以下の通り。

氏名	会社名	役職名
小川 英志	(株)ユニ・ピクチャーズ エンタテインメント	映画営業部 映写担当

3) 国民に対する輸入外国映画の社会的有用性の啓発のための宣伝、普及促進、保存及び特殊上映に関する事業

1. 「トーキョーシネマショー」の開催

18回目を迎えた「トーキョーシネマショー」は「トーキョーシネマショー2013」として以下の通り開催された。

会場：イイノホール

会期：8月1日（木）

主催：一般社団法人外国映画輸入配給協会

共催：モーション・ピクチャー・アソシエーション（MPA）

一般社団法人日本映画製作者連盟

全国興行生活衛生同業組合連合会

後援：経済産業省

公益財団法人ユニジャパン

NPO法人映像産業振興機構

プログラム

○シンポジウム

『シネコン20年～映画館の現在と未来～』

進行：大高宏雄氏（映画ジャーナリスト 文化通信特別編集委員）

パネリスト：服部 徹 氏（中日本興業(株) 代表取締役社長）

瀬戸口 和人 氏（(株)松竹マルチプレックスシアターズ

代表取締役社長）

木村 光仁 氏（ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)

スタジオ・グループ セールズ エグゼクティブディレクター）

○プレゼンテーション大会

『秋から2014に向けて“各社渾身のこの1本！”』

映画パーソナリティ襟川クロ氏の司会で、外配協、MPA、映連加盟配給各社19社の宣伝担当者が、2013年秋以降に公開予定の新作映画のプレゼンを行い会場は大いに盛り上がった。

○懇親会

シンポジウム、プレゼンテーションに出席の興行、配給他関係者との懇親会が行われた。

2. 「映画館に行こう！」実行委員会活動

年間映画人口を2億人に拡大し、映画産業と日本経済の発展に資する事を目的に、一般社団法人日本映画製作者連盟、全国興行生活衛生同業組合連合会、一般社団法人外国映画輸入配給協会、モーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)の映画業界4団体が平成16年に発足させた「映画館に行こう！」実行委員会の平成25年度事業に積極的に参加した。

<主な活動内容>

①映画館での盗撮防止への継続的活動

②第9回「筑紫賞：ゴールデンタイトル・アワード」選考および授賞式

日 時：11月29日(金) (「映画の日」式典にて)

会 場：東京會館

受賞作品：「愛、アムール」(Amour)

配 給：有限会社ロングライド

③上映時間データベース及びYAHOO! 予告編サイトの継続による観客利便性の拡充

④夏キャンペーン・・・全国劇場にて夏から秋の公開作品情報を掲載した公式パンフレットを210万部発行。この中で、ポップコーン引き換え券によるファンサービスを実施

⑤“新作映画イッキに見せます！in 東京国際映画祭”・・・10月25日東京国際映画祭期間中に秋から正月に向けての話題作予告編をいっきに公開するイベントを実施。タレントも参加した華やかな催しを開催した。

3. 東京国立近代美術館フィルムセンターへのフィルム寄贈

当協会会員会社から東京国立近代美術館フィルムセンターに永久貸与された作品は0本であった。会員各社の作品契約の諸条件の中で、海外契約相手のプロデューサーからの賛同を得て、日本(東京国立近代美術館フィルムセンター)にプリントを残す運動は、地道な活動ではあるが、重要な仕事であると認識して、各社が努力している。

4) 外国映画文化の振興並びに外国映画輸入配給産業の発展及び最新映画技術研究に寄与するセミナー・シンポジウム・交流会の開催に関する事業

1. 年頭名刺交換会の開催

平成26年1月6日(月) モーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)の協力を得て、日本の映画産業を支える配給、興行、宣伝、製作、メディア関係者673名が参加し、年頭にあたり外国映画輸入配給事業の健全な発達を図り我が国経済の発展と文化の向上に寄与することを目的として「年頭名刺交換会」を開催した。

2. 外国映画通関連絡協議会研修会

映画・映像関連事業に携わる企業40社が参加する外国映画通関連絡協議会では、東京税関を初めとする諸機関との折衝を通じて輸入通関業務の簡素化を図るため定例会合を開催した他年間を通じて主に以下のような活動を行った。

①定例会合(年4回)

②研修会

日時:平成25年7月17日(水) 13時より15時30分

場所:IMAGICA 第1試写室

議題:「次世代デジタルシネマ上映技術概説～

4K/ハイフレームレート/立体音響/4D等の現状と今後」

講師:(株)IMAGICA デジタルシネマユニット

テクニカルオペレーターチーム 岡田 健氏

「体験型シアター4DX - 3Dのその先へ」

講師:CJ 4DPLEX Co., Ltd. Business Development, Senior Analyst
キム・ドンヒョン氏

「次世代シネマ音響 ドルビーアトモス」

講師:Dolby Japan 株式会社 林 正樹氏

「第26回東京国際映画祭の開催概要について」

講師:東京国際映画祭 ディレクター・ジェネラル 椎名 保氏

「デジタル時代のアーカイヴについて」—映像資産の保存と管理—

講師:東映ラボ・テック株式会社 取締役 根岸 誠氏

3. 外画宣伝部長会

当協会会員会社とモーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)加盟会社、映連加盟会社他、合計32社の宣伝部長で構成される宣伝部長会(9回)を開き、直面する諸問題の検討、情報の交換等を行い、各社の宣伝業務が円滑、健全に遂行されるとともに、映画観客の増大に繋がる宣伝を各社が行える環境整備に努力をした。一般社団法人映画製作者連盟と協力して、2012年度まで実施してきた映画ジャーナリスト・宣伝部合同年賀の会は、会費面と参加人

数の減少等の問題を抱えながら続けてきたが、本年度は一端休止し新たな形を模索してゆくこととなった。また「映画館に行こう！」実行委員会で立ち上げた上映時間データベースやYAHOO！予告編サイトについて改良、改善に努めたほか、同実行委員会が主催した「夏キャンペーン」及び「新作映画イッキに見せます！ in 東京国際映画祭」の実行部隊として活動した。

5) 映画事業の振興推進を目的とした各種映画祭への協力、後援及び開催に関する事業

1. 映画祭の後援・協力を行い、各映画祭が成功裡に開催されるよう協力した。
2. 第26回東京国際映画祭運営への協力としては、上映作品のフィルム通関、翻訳、字幕製作等における協力を中心に行った。トーキョーシネマショーは第26回東京国際映画祭提携企画となった。

平成25年度 外配協後援各種映画祭

映 画 祭	会 期	会 場
新・午前十時の映画祭	平成25年4月 6日(土)～ 平成26年3月21日(金)	全国の42映画劇場
SKIPシティ 国際Dシネマ映画祭 2013	平成25年 7月12日(金) ～ 7月21日(日)	SKIPシティ 他
あいち国際女性映画祭 2013	平成25年 8月31日(土) ～ 9月 8日(日)	ウィルあいち 他
第6回 したまちコメディ映画祭 in台東	平成25年 9月13日(金) ～ 9月16日(月)	台東区 (浅草地区・上野地区)
山形国際 ドキュメンタリー映画祭 2013	平成25年10月10日(木) ～10月17日(木)	山形市中央公民館 山形市民会館 他
第26回 東京国際映画祭	平成25年10月17日(木) ～10月25日(金)	六本木ヒルズ 他

TIFFCOM2013	平成25年10月22日(火) ～10月24日(木)	ホテル グランパシフィック LE DAIBA
MPTE AWARDS 2013	平成25年10月24日(木)	六本木ヒルズ
第18回 神戸100年映画祭	平成25年11月1日(金) ～11月10日(日)	新長田ピフレホール 神戸アートビレッジセンター
第5回 京都ヒストリカ映画祭	平成25年11月30日(土) ～12月8日(日)	京都文化博物館 他
第9回 大阪アジア映画祭	平成26年3月7日(金) ～3月16日(日)	梅田ブルク7 ABCホール 他
第6回 沖縄国際映画祭	平成26年3月20日(木) ～3月24日(月)	沖縄コンベンションセンター 他

3. 各種映画賞運営に協力

第37回「日本アカデミー賞」(運営委員として)、第68回「毎日映画コンクール」の運営(諮問委員として)に協力した。東京映画記者会主催の第56回「ブルーリボン賞」に後援者として協力した。

6) 輸入外国映画の国際取引に係る紛争解決の斡旋及び知的財産保護に関する事業

1. 映画館内における映画盗撮により、複製海賊版DVDやインターネット上へのダウンロード等により著作権侵害が多発していることから、映画各団体は協力して活発な活動を展開した結果、平成19年「映画館の盗撮の防止に関する法律」が公布、施行された。

この後当協会、一般社団法人日本映画産業団体連合会、一般社団法人日本映画製作者連盟、モーションピクチャー・アソシエーション(MPA)、全国興行生活衛生同業組合連合会は、一般社団法人映像ソフト協会、日本著作権協会とも緊密な連絡をとり、同法律の周知徹底に資するため、「映画館に行こう！」実行委員会を中心に全国劇場における盗撮防止キャンペーンCM(カメラ男)を継続している。

平成22年1月および23年1月からは著作権法一部改正があり、ダウンロードに関しても厳しい対応となったことからCMのリニューアルを行い、キャンペーンを継続している。

このほか、違法対策室を設け劇場からの盗撮情報を集約、連絡を徹底している。

2. 著作権問題

会員各社における著作権問題に関する諸問題を顧問弁護士との相談を通じ検討・連絡・対応にあたった。また速やかな映画業界全体としての問題解決に向かって各関連団体との協議を重ねた。

7) 前各号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するために必要な事業

以上